

2024年7月例会報告

1. 開催日： 2024年（令和6）7月24日（水曜日）18:30～20:00
2. 会場： 阿佐谷地域区民センター 第3集会室
3. 講師： 細越博資会員
4. 講演テーマ：「生成AIについて」
5. 参加者： 小川(啓)、小川(俊)、石村、細越、矢口、高橋、松崎、内田、堀越、宮崎、長谷川、小高、泉（講師含めて13名 敬称略）

6. 講演概要：

6. 1 目次

1. 生成AIとは何か、2. 生成AIの歴史、3. 生成AIの技術、4. 生成AIの適用分野、5. 自動言語生成AIについて、6. 生成AIのリスク・注意点、7. 生成AIの実演、8. まとめ

6. 2 内容

ここ数年話題となっている生成AIについて、歴史に学ぶ会における資料作り、要約版の作成に活用した経験を紹介せよとの話を頂き、本発表となりました。

まず、生成AIとは、指示に基づき、文章や画像や音声を生み出すソフトウェアであること、そのためには既存の記事や論文、画像やイラストなど多種多様なデータを学習した「基盤モデル（FM）」が必要であること、同様に、テキスト生成モデルには「大規模言語モデル（LLM）」が必要です。

現在の人工知能（AI）ブームは、第四次ブームと言われています。オープンAI社のChatGPTで火が付きまして。

生成AIの技術には、機械学習、ニューラルネットワーク、深層学習（ディープラーニング）、自然言語処理、データマイニング、生成モデル、言語モデル、プロンプトエンジニアリングがあります。

現在、生成AIは色々な分野、業界、すなわち金融、医療、教育、メディア・広告、物流、建設、行政、製造、小売・フードサービス、情報通信、コンテンツ、旅行・観光、法律、等の業界で、すでに活用されています。さらに活用の範囲も深化も進むものと思われます。

生成AIの実演では、Wi-Fiでインターネットに接続し、Google社のGemini（旧Google Bard）を使用して、プロンプト（問合せ指示）として、「ニュー・マネジメントクラブについて教えてください。」と「高齢者に役立つ生成AIの具体的な事例を教えてください。」を使用して、オンライン問合せを実施しました。前者の「ニュー・マネジメントクラブについて教えてください。」には、山形県のホームページも出ましたが、NMCの内容も正しく表示されていました。

最期に、生成AIのリスク、例えば著作権侵害や誤情報（フェイクニュース）の流布、等を紹介し、如何に生成AIが発達しようが、最終的には、生成AIの回答について最後の判断をするのは自分たち個人であることを肝に命じたいということで締めさせて頂きました。

拙い、生煮えの紹介にも拘らず、最後までご清聴頂き有難うございました。

（写真：小川啓、文：細越）

